

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2020-124659 (P2020-124659A)

【公開日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-033

【出願番号】特願 2019-17547 (P2019-17547)

【国際特許分類】

B 0 1 F 29/90 (2022.01)

B 0 1 F 35/60 (2022.01)

B 0 1 F 35/00 (2022.01)

【F I】

B 0 1 F 9/22

B 0 1 F 13/04

B 0 1 F 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 4 日 (2021.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一端側に底部を有した有底形状であり、他端側が開口部とされ、被処理材料を収納可能な第 1 容器と、

該第 1 容器を内部空間に収納した状態で、内部空間を加圧可能な第 2 容器であって、前記第 1 容器の底部及び側壁部に対向する第 1 壁部、並びに、前記第 1 容器の開口部に対向する第 2 壁部を有する第 2 容器と、

を含み、

前記第 1 壁部の少なくとも一部に設けられる特定部の破壊強度は、前記第 2 壁部の破壊強度より、弱く構成される処理容器。

【請求項 2】

前記特定部を設けられていない前記第 1 壁部の破壊強度は、前記特定部の破壊強度より強く構成される請求項 1 に記載の処理容器。

【請求項 3】

前記特定部の破壊強度は、当該特定部の厚さを、前記第 2 壁部の厚さ未満にされ、及び / 又は、当該特定部を構成する材質を、前記第 2 壁部を構成する材質と異なるものにされ、前記第 2 壁部の破壊強度より弱く構成され、当該特定部の厚さを、前記特定部を設けられていない前記第 1 壁部の厚さ未満にされ、及び / 又は、当該特定部を構成する材質を、前記特定部を設けられていない前記第 1 壁部を構成する材質と異なるものにされ、前記特定部を設けられていない前記第 1 壁部の破壊強度より弱く構成される、請求項 2 に記載の処理容器。

【請求項 4】

前記処理容器は、遠心機に含まれて、前記第 1 壁部の少なくとも一部を露出する窓を有する自転体に保持されるものであり、

前記特定部は、前記窓により露出する位置にある前記第 1 壁部の少なくとも一部に設けられる請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の処理容器。

**【請求項 5】**

前記特定部は、前記第 1 容器の軸方向長さを 1 0 0 とした場合に、該第 1 容器の底部から 7 0 の範囲に対向する前記第 1 壁部の少なくとも一部に設けられる請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の処理容器。

**【請求項 6】**

請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の処理容器を保持可能に構成されて、自転軸線を中心に自転可能な自転体と、

前記自転体を保持して、公転軸線を中心に回転可能な公転体と、

前記公転体及び前記自転体に回転力を付与する駆動部と、

を含む遠心機。